

(コーディネーター)

事業番号 32、成人祭「はたちのつどい」事業についてご説明をお願いします。

(説明者)

事業概要説明シートに基づきご説明申し上げます。

実施方法でございますが、市直営で実施させていただいております。それとその3つ下にあります事業の必要性を合わせてご覧ください。新成人の門出を祝福し、新成人が社会の一員として地域社会の次代を担うことの意義などについて考える機会となること、そして国民的な行事として定着してる成人到達の式典催事は、若者たちが新しい生き方を考え、決意を新たに作る節目として重要であると捉えて実施させていただいております。

対象は、平成21年度の対象者としまして4,256名でした。

事業内容でございますが、枚方市立中学校体育館19会場におきまして、成人の日に実施しております。内容につきましてはDVD映像を活用した市長、市議会議長の祝辞や枚方ゆかりの著名人からスペシャルレターを上映しております。また、新成人代表が抱負を述べる新成人のこぼやアトラクション等を実施させていただいております。また、式典終了後には友人・恩師との交流の時間を設けております。

コストにつきましては、正職員1.4名を当てておりまして、人件費と直接経費合わせまして総事業費は約2,200万円を推移いたしております。一番下でございますが、平成21年度でいきますと、会場設営委託料等、参加記念品、これはオリジナル図書カード1人500円相当をお渡ししておりますが、これを合わせまして、1,113万円となっております。

続きまして61ページをご覧ください。初めに本市の経過についてご説明をさせていただきたいと思っておりますので、一番下の特記事項をご覧ください。松下電器体育館や昭和46年に完成いたしました市民会館大ホールを使用して、長年一か所で開催してまいりました。平成8年度からはひらかたパークで開催してまいりましたが、パーク側の運営上の理由で会場が使用できなくなったことを契機といたしまして、単に以前の会場に戻すのではなく、成人の日の意義に沿った形で式典を実施するため、地域に密着した成人祭として中学校区ごとの地域分散方式で開催しております。

次に、この地域分散方式の結果目標と自己評価についてご説明をいたします。上から3段目、4段目のところの成果目標、自己評価でございますが、地域として新成人を祝う気持ちの醸成とともに希薄になっている新成人と地域住民の交流機会とすること、また校区コミュニティ協議会等で構成する校区委員会のご協力によりまして、式典での前後にオープニングやエンディングが企画実施され、厳格な中でも温かみを感じることが出来る雰囲気となっております。また一般の方も式典に参列がしやすく、地域分散型は有益だととらえております。

続きまして、活動実績、一番上でございますが、こちらの方あとで別紙でご説明いたします。

次に単位当たりのコストでございますが、新成人の参加者数 1 人当たりの事業費といたしましては、7,000 円台を推移いたしております。下から 3 段目の今後の事業の方向性

でございますが、これまでは新成人からアンケートをいただいてまいりましたが、今年からは各会場で新成人の言葉を述べた新成人に、一堂に集まっていた場、新成人の意見を直接聞かさせていただく場として、式典終了後に設けさせていただいて、次年度以降の内容豊富化に反映していきたいと考えております。

続きまして、補足資料 62 ページをお開きください。成人祭に対する新成人の意見をまとめさせていただいております。新成人の中から無作為に抽出した 500 人を対象にアンケート調査を実施しているもので、回答率は 25%となっております。成人祭につきまして、必要か不要かということではいいますと、必要がもうございまして、参加の方も 7、80%となっております。参加理由につきましては、複数回答とありますが、友人に会えるが最も多くて、続きまして 20 歳のけじめ、晴れ着を着るとなっております。参加しない理由では必要性を感じない等が最も多くなっております。どの当時の友人に会いたいかにつきましては、中学校、小学校時代の友人と会うことを楽しみにしているのが、このデータから汲み取ることができます。

続きまして 63 ページをご覧ください。成人祭の実施状況、平成 20 年度、21 年度でございますが、新成人の参加率につきましては 21 年度は 71.4%ということで、地域分散方式実施しまして 4 年行ってまいりましたが、年々アップしております。一般の参席数につきましても、21 年度 545 名と大幅に増加しております。また、先ほどご説明させていただきましたが、人件費を除く、新成人 1 人当たりの事業費といいますと 3,000 円台を推移しておるということでございます。また成人祭をより有意義なものとするために、二つの委員会を設けておりまして、検討委員会では成人祭の全般的な概要について、また校区委員会につきましては各校区におけるオープニング・アトラクションの内容を検討していただいております。以上、資料の説明とさせていただきます。

(コーディネーター)

ありがとうございます。議論に入る前に私からちょっとお伺いしたいのですが、対象者は住民票等から拾っているんですか。

(説明者)

はい、そうです。

(コーディネーター)

そうすると、引っ越した人とかは連絡が行かないということによろしいですか。

(説明者)

そうですね。12月の時点でいったん日を区切りまして、その時点でリストにさせていただくということで、その後引っ越し等の問い合わせ等がありますので、その場合は案内ハガキが無くても入っていただけるということでご説明させていただいております。

(コーディネーター)

わかりました。

それでは、議論の方に移りたいと思います。質問ある方いらっしゃいますか。

(仕分け人)

これは拝見しておりますと、正規職員の従事職員数 1.4 というのが非常に多い気がするんですが、具体的にどのような形の業務をされていて、そこに何人工かかっているのかというのを、内訳よろしいですか。

(説明者)

はい。この人数の 1.4 人につきましては、はたちのつどいを通年で置き換えた場合の人数ということで出させていただいております。また当日につきましては、全 19 中学で行っておりますので、職員の動員を行っておりますので、その人員に関しましてはこちらの中には入っておりません。

(仕分け人)

通年でとおっしゃいましたが、その 1 年で 1 日しかやらない行事ですよ。それを通年でというのがちょっと理解できないんですがどういったことでしょうか。

(説明者)

はい。課の職員数に合わせて、この事務がどれくらいの分量があるかということで 1.4 人ということで書かせていただいておりますので。

(仕分け人)

では、1.4 の内訳を教えてください。

(説明者)

内訳といたしますか、我々の他の業務も含めて社会教育青少年課で行われている業務の中で成人祭のボリューム・事務量が 1.4 ということで積算しています。

(仕分け人)

要するにこの 1.4 人工の人数が積算されてると思うんですが、その中で学校への連絡調整とかそういった具体的にどれくらい手間がかかっているのかというのを教えていただきたいんですけども。

(説明者)

成人祭を実施するに当たりましては、先ほど申しました成人祭の検討委員会を立ち上げております。こちらの方を 3 回、終了してから 1 回行っておりますので、年 4 回実施させていただいております。また校区委員会につきましては、それぞれ各学校長等にもお願いいたしまして、こちらの方は全 19 の中学校の方で校区委員会を設定させていただいている。そういった関係の事務と、あるいは成人祭の色々な消耗品関係、備品等の関係もそうなんですけども、そういったのを各中学校に分配しないといけないということになりますので、そういったものの手配関係。また、会場設営の関係でいろいろ業者等に委託ということになりますので、そういった関係の事務等々ということになっております。終了しましてからは、先ほど申し上げましたアンケートの発送あるいは集約となりますので、そういったことも含めまして、成人祭の全体事務ということで考えております。

(仕分け人)

実際に当日 19 会場には職員なり、でもそこは人数にカウントしてないということですよけれども、それは全体で入れると何人ぐらいなんですか。

(説明者)

はい。人数ですが、当日 1 校区に 16 人の職員を配置しています。これにつきましては、全部で足しますと 19 ですので、304 人になるんですが、これは市の各部にお願いしまして、管理職以上で対応というのを基本にさせていただいております、そのときの業務をお願いしてるということで、それにつきましては当日半日勤務という形になりますので、代休等の処理をさせていただいております。

(仕分け人)

代休発生しちゃったら、これお金カウントしないといけないんじゃないですか。

(説明者)

代休に関しては、発生という形では取ってはおりません。

(仕分け人)

19 会場で実施されているんですが、60 ページの資料の一番下、会場設営委託料等 896 万 2,000 円はどんな形での委託になってるんですか。

(説明者)

こちらの方ですが、成人祭は体育館で実施しておりますので、大変寒いということがありますので、赤外線ヒーター、石油ストーブ等そういったものをレンタルで配置させていただくということ、また金屏風等、生け花等そういったものがありますので、ステージ上の設営関係のレンタル、設営ということになっております。また、その他シート関係の中で、すでに用意してるものがあるんですが、そういったものを設営させていただくということをお願いしております。ちなみに、1 校区で換算しますと舞台設営関係でいきますと約 27 万円ほどかかっております。

(仕分け人)

19 校区分まとめて一括委託ですか。

(説明者)

一括委託という形でさせていただいてます。

(コーディネーター)

これ記念品ってちなみに何ですか。

(説明者)

私どもの方では、ここ数年オリジナルの図書カードということで一人 500 円相当の図書カードを。そこに枚方ならではのものをということでプリントさせていただいて、お配りさせていただいております。

(仕分け人)

アンケートのところでちょっとお伺いしたいんですけど、参加理由複数回答ありというところで、これ実際 126 で、その参加理由の複数回答それぞれの件数を教えてください、割合じゃなくて。

多分 126 を単純に 0.8 かけたら、アンケート分けたら、多分重複で 250 とかそれくらい着てるんですね。

(説明者)

申し訳ございません、ちょっといま手元の方に数字が。

(仕分け人)

記念品のところなんですけど、全体的に 216 万 8,000 円かかっていらっしやると。記念品がもらえるから来てますよと、12%の人がいるというように見えてしまうんですけども、これ多分複数回答じゃなくて、1つにしたらちょっと結果違うんじゃないかなと思うんですね。この数字がないとこれ何とも言えないんですけども。

(説明者)

はい、項目毎にございましたので申し上げます。

平成 21 年度の分になりますけど、友人に会えるために 88 人、今回に関しては該当が 101 人ということでしたので、この%がほぼその人数ということになってます。ですのて二十歳のけじめは 62 回答ですね。それと晴れ着を着るは 41 ということになってるので、今おっしゃっていただいた記念品がもらえるは 12 回答ということになってます。

(仕分け人)

この 12 人の人が景品をもらえるからという形で参加してるということに対して、200 万円以上のお金がかかるということはどうお考えですか。

(説明者)

他市の状況等を見ておりましたら、確かに出してないというところもございます。

北河内、近隣で言いますと、出してるところがほとんど、そちらの方も色々制約してしておりました。大体 500 円程度のものを色々工夫して出しているという実態があります。それと、先ほど申し上げました成人祭の検討委員会というところで、新成人の方が入っていただいてその中身を検討するという事としてるんですが、その中でもこの記念品についても毎回ご議論いただいてどうするかという話をしておりまして、やはり記念品、二十歳のけじめということであるので、何らかのものがという声がありますので、今現在こういう形で、ただし 500 円相当までということとさせていただきますということとです。

(仕分け人)

市全体 200 万円も使ってるわけですよ。それについてはどうお考えですか。市の立場として、どうお考えですか。

(説明者)

確かに経費はかかるということはあるんですが、その成人祭、地域分散方式の目標を当初立てさせていただいてるときに、校区コミュニティ協議会を中心に、活発な地域活動が枚方では、本市では行われておるんですけど、残念ながら若い世代の参加が少ないのが実状であるということがありまして、中学校区ごとの成人祭が定着すれば、地域における成人の活動も変わってくるだろうというふうに考えてますので、記念品の中身も含めて新成人の言葉を聞かせていただいて、実施させていただいてるところですので、必ずしもその200万円が無駄になってるというふうには他市の状況も踏まえてとらえておりません。

(仕分け人)

逆に伺いますけど、今新成人の参加率ってのは71.4%であると。これを何%まで持っていきたいんですか。

(説明者)

理想は100%になります。

(仕分け人)

具体的には、計画として何年後に100%になると。

(説明者)

何年後に100%というのはありませんが、地域分散方式をスタートした平成18年度からいきますと、それぞれ1ポイント。平成18年度から19年度には1.1ポイント、次に1.2ポイント、20年度から21年度で1.5ポイントということで徐々に上がってきておりますので、府下全域については67%の出席率となっておりますので、枚方としては71.4%、これを少しでも上げていくということが必要なことではないかなと思っています。

(仕分け人)

この500円の支援金がなくなると、何%参加率が落ちるかというのは考えたことありますか。

(説明者)

何%ということは想定はないんですが、若干下がるだろうということは想定はしてます。それは先ほど言っていたアンケートの回答の中に、記念品がもらえることに対する新成人もいるという数字がありますので。

(仕分け人)

アンケートは複数回答なので、ちょっと参考にならないと思うんですよ。記念品だけ欲しいから来てますという人が11人の中で何人かというのは把握されてらっしゃいますか。

(説明者)

そこまでは把握しておりません。

(仕分け人)

今のお話の続きだと、参加しない理由っていうのを上げてるところを考えたときに、必要性を感じないというのが1番多いんです。必要性を感じてもらうには何が重要かと、記念品じゃないんじゃないかなと思うところがございます。

19の校区に分けてやるという、地域とつながるといふところの、そういう工夫をされているっていうことの方が、おそらく主旨としては重要性が高い。まあそこに必要性を感じないというふうに来てしまうところが何なのかというのをそれぞれ校区だったり、検討委員会だったり研究されているかとは思いますが、その辺の議論というのはどういうふうになってるんでしょうか。

(説明者)

なかなか、必要性を感じない等のところの意見については吸い上げが難しいというふうには考えておるところです。

ただ、先ほどの事業シートの今後の方向性のところでも申し上げましたが、直接、今年度、来年の1月になりますけども、成人祭につきましては、午後に成人の言葉を発表していただいた方々と直接意見を聴けるような場を設けまして、意見交換させていただいて、次の年度には反映させていきたいとは考えています。

(仕分け人)

ちょっと話題が変わるんですけど、校区委員会の設置をされておりますけど、この設置の実績、年間何回開催までに校区委員会を、成人祭の開催までに校区委員会を開催されているかということが一つ。それから参加者、校区コミュニティ協議会、中学校長・小学校長の各代表、並びに事務局となっておりますが、この人数ですね、具体的に。これに成人祭に出席する人が入っているのかというか、それも含めて人数教えてください。

(説明者)

校区委員会の実施におきましては、各校区で実状が異なっております。数回やってるところもあれば1回で終えてるところもあるというふうに報告を受けております。人数につ

きましては、中学校長、小学校長、コミュニティ協議会は1中学校ずつでいきますので、校区によりましては、1名から3名程度ということで分かれております。そこにあと私ども、教育委員会の方からプロジェクト員ということで指導主事1名、職員1名ということで入っております。

(仕分け人)

そのことじゃなくて、教育委員会そのものが実施されてるんじゃないんでしょうか。コミュニティの代表が中に入って運営していると聞いてるんですけど、その回数がどうであるかということをお聞きしてるんです。やってないですか。枚方市の教育委員会の中で。こういった会議を。成人祭の会議を。

(説明者)

プロジェクト員のチーム会議はしております。

(仕分け人)

その中身を聞いているんです。

(説明者)

プロジェクトチームの会議につきましては、実施までにおおむね3回程度開催をさせていただきます。このチーム会議につきましては、実務的な内容ということで、その辺りについて、来賓名簿を作成するに当たっての注意事項であるとか、そういったことを受けてまず中学校の校長先生の方にチームを通じて打ち合わせに行かせていただいています。

(仕分け人)

そのことではなくて、このプロジェクトチームに参加されてるメンバー、人数、そのことをお聞きしてるわけです。

(説明者)

それにつきましては、1校区に2人を派遣しておりますので38名となります。

(仕分け人)

それだけですか。

他に誰か教育委員会から参加されることがあるんですか。例えば次長とか、部長とか、課長とか。

(説明者)

その会議には必要に応じて次長なり、私なりの参加はいたしますけど、具体的に各校区に参りますのはそのプロジェクトチーム員です。

(仕分け人)

校区は私も知っておりますのでわかりますけど、これは何が言いたいかと言いますと、この1.4名ということについての割り振りがどうなっているのかなということを今お聞きしたんですけど。

(仕分け人)

ということは19地区でやってるけど、皆同じようなやり方でやってる。全部統一されてる。そうじゃなくて、各校区ごとに実行委員会のようなものがあって、それぞれのやり方、演出というのがある、そういう理解でよろしいでしょうか。

(説明者)

基本的には別といいますか、中身についてはそれぞれ同じ形を取ってますが、オープニングとアトラクションは別です。

(仕分け人)

よくやってるのは、大体中学校区というのは、その中学校の卒業生が大体実行委員会を作って、本人たちに色々企画させたりというところが増えてますよね。こちらではそれやってないということですね。

(説明者)

それはしていません。

(仕分け人)

やってない。

(説明者)

はい。

(仕分け人)

では逆に言えば、その方が教育委員会、その方で1.4人分使う、そういう事務コストが減りますよね。全部そのこちらのお仕着せて言ったら悪いけど、パターン化された

モデル的なものを同じように社会主義的にやっていくようなそういうイメージなので、もうちょっと各校区で独自性でってのが普通はあっていいですよ。

(説明者)

そうですね、そういったことは検討委員会の中でも議論は出てきています。

(仕分け人)

だから、当事者がいなきゃそういう話にならない。周りの人たちが言うから、役所が持ってきたひな型どおり、粛々とやることになるからということですね。それでも参加者が多いんだからいいかみたいな話になるんですけどね。

(説明者)

決してそうではなくて、祝辞を候補者を検討委員会の中でも募集したりするんですけど、なかなか新成人自ら、今の若い人たちが出てこないというわけなんです。

(仕分け人)

実行委員会で、非常に盛り上がってますよ。もう既に実行委員会でやってるところの方が多いですよ。それはそれで一つ記念品なんですけど、これも色々な事例の中で、例えばいいなと思ったのは二十歳のパスポートという、要は投票権、参政権ができるわけですから、そういう意味でも成人になれるわけですよ。だからそういったものを行政で用意して、まさに免許証ですよと、パスポートという形でちょっとしたカードみたいな2、3枚のものをお渡しして。それ非常にいいなと。それ参考までの意見ですが、聞きたいのはですね、これ、アンケートは男女別に取られてるんですか。

(説明者)

無作為ですので、男女別では集計していません。

(仕分け人)

男女別で集計されてない。当然晴れ着を着るなんてのは、ほとんど女性側の回答でしょう。男も晴れ着を着るって出てるかもわからないですけど。他の自治体の悩み、こちらでも多分そういう悩みがあると思うんですけど、今70%の参加だと。それを100%に近づけようとするときに、これが一番ネックになるわけですよ。そういう問題意識は感じてらっしゃいますよね。今こういう時世ですから、お子さんに晴れ着を着させるだけの経済力がない世帯が多いんです。だから自治体によっては夏にやったり、夏は浴衣で済むからとか、色々な工夫をしてる。それがいいか悪いかわけにしても。そういうやっぱり一種のカルチャーになっちゃてるから、一種その集団的な中で、自分だけ晴れ着を着てない、

着れない、だから出られないというケースもしばしばあるわけですよ。だからそれを100%に近付けるにはどうすればいいか。もし仮にそういう事実がない。枚方市の市民は皆さんそれなりに経済的に余裕があるから、まあ女の子に、そのときに晴れ着を着させるくらいの経済力はあるだろうということであればそれはそれでいいんですが。

(説明者)

地域分散方式ということで一つの中学校ごとでやっておりますので、比較的身近なところで慣れてるといふところがあるかと思ってるんです。見ておりましたも、必ずしも晴れ着をきている子たちばかりがいてるということではないということもあります。

(仕分け人)

そういう感じで。

(説明者)

逆に密着型なので、そのあたりは改善されてる部分があるのかなと。どちらかといふところの成人祭でいいますと、公立中学校でやっておりますので、他市から転校してきた、転入した人、あるいは私立の中学校に通った人たちが若干疎外感があるんじゃないかというご意見、これは市議会の方からもいただいております。そういったところというのを今後どうしていくかは課題であるかと考えております。

(仕分け人)

会場 19 校で単純に参加者数 3,000 人ちょっと。大体平均 150 から 160 くらい、多いところ少ないところあると思うんですけども、で、1 会場につき職員さん 16 名派遣というか行かれて。それと別に地域のボランティアの方、コミュニティの方とか、学校の先生方とかがされるんですよ。

例えば中学校で全部使わずに 2 つか 3 つ 4 つとか、まとめてするとなるとスタッフももうちょっと減らせるだろうとか、すごく人数の少ない学校がなくなったりだとか、さっき言われたちょっと疎外感のあるような人でも行きやすかったりとか、そういうふうな考えってどうでしょうか。

(説明者)

そうですね、枚方市はどちらかといふと中学校単位じゃなく小学校単位でまちづくりが推進されているというところがありますので、本来ですと小学校単位かなというのがあるんですが、やはりそうやってきますと一つの学校ごとでいいますと対象者人数がかなり少なくなってくるということがありますので、中学校単位で一緒にさせていただいています。この中学校単位を、幸いにして枚方はその市内全域バランスよく配置され

ているということがありますので、そこを統合したような形ではなくて、今の形で実施させていただくのが、先ほども少し申し上げましたけれども、私どもが願っている新成人にそういった地域活動に少しでも興味をもっていただけるようなきっかけとしたい、その願いで言うとなるべく地域密着で、それでいて小学校単位になると45になってしまいますから、なかなかしんどいので、中学校単位の19校のあたりでというふうな考えとしてあります。

(仕分け人)

私が言ったのはその中学からのまとめて、小学校じゃなくてだから中学校、例えば3つ4つ一緒にできるだけ近いところとか、人数のバランスでやってるという方法はどうかでしょうか。

(説明者)

確かに、私どもの事業の軽減をされる部分も、いわゆる動員が減るだろうというところがあるんですが、本来まちづくりは小学校単位ぐらいで行われるものであろうということがあります。やはり地域分散方式実施させてもらって、ご近所の人に来てくれたとか、顔で知るそういった範囲でいうと、あまりにも広くなりすぎるのはどうかというふうに考えています。それでいくんであればもう少しこうおっしゃっていただいているようにたばねて、市内3か所ぐらいでまとめてやってしまうとか。そういったところへ持っていくのも一つの方法かなと思います。

(仕分け人)

そもそも16人というのは、16人の方が当日会場にいらっしゃって、どういう業務をされるんですか。

(説明者)

はい。来賓の受付とか案内とかそういったこととかもありますし、全体的ないわゆる裏方といいますか、そういったあたりのこともありますので。

(仕分け人)

その辺は校区のそれぞれの委員会の方々が、お手伝いされないんですか。

(説明者)

校区の委員会の方々は来賓ということで、当日は式典会場に入られますので。

(仕分け人)

委員会の中に、例えば新成人は全く入っていない形で校区委員会がやってるんですか。

(説明者)

はい、そうです。そういう形になってます。

どちらかという、新成人に当日まで、オープニング、アトラクションをふせておいて、当日新成人にこういう形でおもてなしみたいな感じでいきますので、新成人の方は自ら先ほどおっしゃっていただいた実行委員会形式で、枚方の場合はこうなっているのではなくて、地域の方が企画して、そこに新成人がというそういう形で捉えています。

(仕分け人)

印象としては、やはり主体的に当事者として新成人が関わった方が、何というか、式典としての新成人の視点で作りますから、面白い物になったりとか、そういったことがあるのではないかなと思ったんですが。例えばこのアトラクションというふうに書いてありますけれども、これも校区委員会が企画するという事は、新成人の視点ではなくても、校区の委員会の方々が考えられる、例えばこういったものがありますか。

(説明者)

そうですね、地域の方が新成人を祝うためにという形になってます。色々あるんですが、例えば地域の方々の和だいきサークルであったり、中学校のプラスバンドであったり、あるいは幼稚園児の踊りであったり、色々地域に根差した形でしていきたいと、そういう形になってます。

(仕分け人)

例えば、新成人の中でバンドをやってますとか、劇をやってますとかそういった人たちが活躍する場とか、その新成人と地域の交流っていう意味で、そういう形で企画しているみたいな面はないんですか。

(説明者)

そういった新成人自らという形ではありません。ただ枚方の場合、地域分散方式に変えましたときに、午後に全員で集まれる場を新成人自ら作りたいということで、市民会館大ホールで事業を実施したことがあります。

これは18年度と19年度に実行委員会を作っていただいて、全員の新成人が参加できるようにということでされたんですが、結果なかなか自分たちが企画しても、新成人の人が思ったように来てくれないとか、友達と同窓会のようにしゃべって、参加してくれないとかいったようなことがあって、20年度からはそういった新成人自ら実施する形と

というのは、本市の場合は行われたいという形になってきておりますので、これを各校区に広げるとなると、そういった新成人のモチベーションを含めて色々あると思うんですが、そのあたりは今の段階、こういった経過がありますので、すぐに実行委員会形式には変えにくいんじゃないかと思えます。

( 仕分け人 )

それはでも、企画されたのはまだ校區別になってないときのお話。

( 説明者 )

そうです。

( 仕分け人 )

例えば全市だと集まりにくいというのはあると思うんですけどね、自分の友達でやっぱり全市で集まっても、知ってる人間の中で固まってしまうのが常だと思います。校区単位だったら、同じ学年だった中学校の人たちとかっていうことになって、参加率が上がるんじゃないかなってってことも考えられますよね。そのへん、実行委員会というのを考えるときに。

( 説明者 )

新成人と、全校区の新成人二十歳の言葉を述べていただいた成人との意見交換もしたいと考えておりますので、一度そのあたり、こちらからも投げかけさせていただいて、新成人自らそういったことがやっていけるのかどうか、また興味があるのかどうかも含めまして、また聞いていきたいと思えます。

( 仕分け人 )

それは後じゃなくて、前から準備段階から、意見を聞くっていうことですよ。

( 説明者 )

はい。

今年度についてはこの形でスタートして、準備に入っておりますので、今年実施した後、次年度のことについてだけということでも新成人の方と意見交換をしていこうかなと。

( 仕分け人 )

今年度についてはもう、社会教育青少年課の中でやってしまってるということですね。

(説明者)

ええ、現在検討委員会も3回実施したのが終了いたしましたので、今度は校区委員会の方に移行していくというような段階になってます。プロジェクトチームの方も、体制を取ってるところになっておりますので、これについて今の時点から、例えば新成人を公募して、各校区委員会に入っていただくということについてはスケジュール的にも少ししんどい部分があるかなと思っています。

(コーディネーター)

では、事業シートに記入しながらお願いします。

(仕分け人)

目的のところに地域社会の次代を担うことの意義などについて考える機会となるとあるんですが、アンケートの中ではそういったきっかけになりましたといった問いかけがないですね。それは結果としてどうなんですか。

(説明者)

そうですね、アンケートについてそのあたりについては、言っていないところがあるんですが、新成人の二十歳の言葉を述べていただく、この述べていただく方たちも私も公募させていただいてるんですが、その言葉の内容をみてる限りにおいては、このあたりの地域福祉というのはしっかりと新成人は捉えていただいていると思っております。

(仕分け人)

二十歳の言葉っていうのは、基本的に行政側から参考文書とかを出して、それを読み上げてるのじゃなくて、その新成人が自分で考えた言葉を述べていると。

(説明者)

はい、基本そうです。

ただ、なかなか去年はどうでしたかというようなことを新成人も意識したりしますので、その場合は昨年度の見本例みたいなものは参考にお渡ししたりして、基本は自分たちで思いを語っていただいています。

(仕分け人)

もう一点なんですけど、新成人が地域に入っていくことを期待して校区コミュニティ協議会とかもやっただいてると。地域の方にご協力いただいていると思うんですけど、このイベントを二十歳の集いを終えた後に、新成人が例えば地域の除草作業

であるとか、清掃作業であるとか、そういった貢献に入りだしたという事例はあるんですか。

(説明者)

なかなかそう数値については取れてないのが実情です。新成人、まあ二十歳のときに働いてる人もおるんですが、学生が多かったりします。就職活動とか大変忙しい時期とかがあっていうことがありますので、これについては即今の段階ではでないというのが実情なんですけど、私どもとしてはやはり5年後、10年後には必ず地域のこの出会いによって、そういった形で地域活動に参加していただく一つの機会になるだろうという、そこが願っているところです。数として出せと言われた場合にはなかなかそう。

(仕分け人)

すぐ結果が出ないのしょうがないと思うんですけど、少なくともアンケートでは項目は設けていただければと思います。

(説明者)

はい、わかりました。

(仕分け人)

最初に触れられてそのまま触れられてないので、ちょっともう一回確認したいんですが、会場設営委託料等で896万2,000円ですね。等というのはそれ以外にもあるんでしょうか。ちょっと内訳をお聞かせ願いたいなど。

(説明者)

例えば会場設営の中でも、シートを敷いたりとか、椅子を並べたりとか、そういったような関係というのは中学生でもできますので、それぞれ中学校の方に謝礼ということで、1校区5万円をお支払いをさせていただいてという形を取っております。

それとスペシャルビデオレター、いわゆる市長と議長のあいさつをしゃべっていただきます、そのビデオレターを製作しないといけないということがありますので、そういった関係の製作費ということで約80万円となっております。

(仕分け人)

そんなのカットできないですか。委託しないといけないですか。

(説明者)

あの、やはり。

(仕分け人)

できるんじゃないですか。

(説明者)

あの、なかなかやはり。

(仕分け人)

できないんですか。

(説明者)

はい。

(仕分け人)

そうですね。パワーポイントとかでもいいわけでしょう。まあしゃべってもらうからか。そんなのプロジェクターだっていいじゃないですか。DVD か何かで。

(説明者)

市長と議長だけではなくて、いわゆる芸能人、そういった。

(仕分け人)

そういうのをどっかのプロダクションじゃないけども、どっかに委託してるからお金がかかる。

(説明者)

いえ、プロダクションに委託はしてません。枚方にある K-CAT という地域放送局がございますので、そちらの方に。

(仕分け人)

委託料が。

(説明者)

委託です。

(仕分け人)

委託でしょ。委託してるんでしょ。だから。今委託してないとかって。

(説明者)

委託はしてます。

(仕分け人)

だからお金がかかるんですねってこと言ってるんです。

(説明者)

例えば謝礼としては、内訳としては出しており、それ以上のことは出せないという形で取ってますので。

(仕分け人)

だから、ということはやっぱり随意契約ということで。

(説明者)

これについては随意契約です。

(仕分け人)

まあねえ、そこを含めて実行委員会形式でやり方のバリエーションを作れば、むしろこの部分のいろんなコストは相当押さえることができるでしょうにね。

(説明者)

そうですね。そのあたりは余地があるかと思うんですが、ただ、無駄な経費ではなくて。

(仕分け人)

一番お金掛かってるのがそこなんですか。

(説明者)

いえ、そういうことではございません。やはり舞台設営の委託等。

(仕分け人)

舞台設営っていったって、先ほどシート敷くとか一番手間がかかるのは、各学校ごとにそれなりのお金わずかですけど、5万円ですか、やってもらってるでしょう。

(説明者)

それ以外の分については指名競争入札。

(仕分け人)

だからそれ以外の会場設営っていったら、何があるんですか。

(説明者)

繰り返しになりますけど、いわゆる赤外線ヒーター、石油ストーブ等々のそういった借用も含めてということになりますし、金屏風とか、そういった看板類関係も作っていただいたのを、作っていただいてなおかつ取り付けすると。

(仕分け人)

そんなに長くセレモニーやるんですか。赤外線ヒーターとか調達しなきゃいけないくらい長い時間、延々とやるんですか。

(説明者)

そうですね。式典自体は1時間ですが、前後で来られたり、あるいは終了後に交流の時間も1時間設けておりますので、かなり体育館ですので、寒いということになりますから、これは絶対必要であると。

(仕分け人)

ヒーターなんかは中学校に設備はないんですか。

(説明者)

大型ヒーターでないと、体育館は。

(仕分け人)

体育館の中にヒーターを常備してる、その学校で、授業とかで使ってないと。

(説明者)

そうですね。

(仕分け人)

だからこのときだけ借りてくる。

(説明者)

そうです。10時から一応会場に入れますという形を取ってますので、10時から1時半まではそれを稼働させていただいてるということになります。

(コーディネーター)

芸能人におめでとうと言ってもらって、うれしいですかね。

(説明者)

そういったことがあるんですが、枚方の場合は、芸能人の中でも枚方市にゆかりのある方ということで。

(コーディネーター)

ゆかりがあるというのなら、80万円はいらないでしょう。

(説明者)

80万円がその芸能人の謝礼ではなく、芸能人の謝礼というのは10万円という形を取っております。

(コーディネーター)

じゃあ今こんなでもよく撮れますから、それでおめでとうって言ってもらって流したらいいだけの話じゃないんですか。

(説明者)

それぞれにDVDに落とし込んで、19万円。ということで、これと枚方の市長と議長の分もありますけど、それとスペシャルビデオレター、それと、枚方の八景とかですね、そういったあたりにもそれぞれK-CATで持ってる映像を使わせていただいて、それを編集して流しているという形を取ってます。また、テロップ・字幕作成、そういうのも含めて一括して80万円という形になってます。

(仕分け人)

例えば放送局で撮ってる映像使うにしても、その映像だけくださいと言って、データだけもらってですね、ビデオはビデオで普通に撮れるものはいっぱいあると思いますんで、それでまた編集してってということはいかがですか。DVD19枚なんて本当にいくらで買えますか。普通に焼くだけだったらすぐ焼けますし、それ製作費80万円は結構高いなという印象なんですけど。

(コーディネーター)

言いたかったことはですね、夕張が財政破綻しましたよね。そのときに成人式をやるお金がないからって、出身の方、在住の方皆が集まってきて、やってたんですよ。折り紙で鎖作ったりとか本当に手作りでやって、本当に楽しかったと。それは成人を祝うということもあるけど、目的にあります通り社会の一員としてのデビュー戦なわけですよ、成人式って。それをお客様扱いするよりも、本当にその人たちがどうするかっていうことをサポートしてあげる方が、満足度高いと思うんです。で、地域によってそれがでこぼこがあったりは仕方ないと思うんですね。先ほど小学校単位のまちづくりエリアとしてはふさわしいっておっしゃいましたよね。だから別にもう少しエリアを小さくして、その分市は本当にタッチしませんというふうに手放してもいいと思うんです。そういった改善をしようという意思がちょっとあまり申し訳ないけど、感じられない。そうって自主性に任せて、自治のデビューみたいなことをするのは、すぐにそこには行けないかもしれないし、手間としては大変めんどくさいですよ。でも、一つずつでもそういうところを作っていくことが、やがてはコミュニティの活性化につながっていくと思うんです。なので、そういうふうに改善していただければなというふうに思うんですね。

記念品は自分たちも選んでもいいと思うし、当然予算を決めておいて、そういうことで自分たちでやるっていうことをここで覚えてもらうことが何より教育の一環であるし、社会教育がやる意義だと思うんですけれども。

そろそろ評価の方に移りたいと思います。

事業番号 32、成人祭「はたちのつどい」事業について評価を行いたいと思います。この場合、1番の不要は成人祭自身が要らないということもありますけれども、そういった成人を何かの形で祝うという目的は正しいけれども、今の現在の手段としてどうなんだろう。もう1回ゼロに戻して手段を考えるべきだといった場合も不要にさせていただきたいと思います。それでは1番不要(3人)、2番 民間(0人)、2番 国・府・広域(0人)、3番 枚方市・要改善(2人)、4番 枚方市・現行通(1人)。

それでは評価についてご意見を伺いたいと思います。不要で挙げられた方。

(仕分け人)

やはり今実行委員会形式でやった方がいいんじゃないかというお話がありました。私もやっぱりお客様扱いするんじゃなくて、これを契機として、ぜひ二十歳の人たち、新成人に社会の中でどうやって立ち位置が変わっていくかという場所になればなと思いまして、手段としてちょっと今のやり方はよくないのではないかって、不要に挙げたわけで、つどい自体が不要というわけではないです。

(仕分け人)

まったく無意味だとは思いません。ただ、やっぱり新成人をおもてなしみたいな形になってるような気がするので、例えばですけど式典という形じゃなくて、本当に例えばですけど運動会みたいなものにするとか、そういうふうな全く別の形っていうのも考えてみてもいいかなと思います。

(コーディネーター)

では、要改善で挙げられた方。

(仕分け人)

今のお話とほとんど共通で、実行委員会形式がやっぱり望ましいだろうということですね。もう一つは記念品はですね。これは何あげたって、大体どっか行っちゃうかみたいな話で。先ほど申し上げたようなパスポート、その参政権を持つ国民としての主権者になるわけですよね。その主権者になることによる社会人としての責任みたいなことを、そこで行政として新しい成人にキチンとメッセージを届ける、それは市長さんの言葉もいいんですが、そういったパスポートみたいなところに、そういうコンテンツを入れて、そしてそれをお配りしてる自治体もある。それは記念品だと。体裁はカードですから、お金もほとんどかからないというような事例もあるということも参考までにお話させていただきます。

(仕分け人)

私は現状維持ということでございます。今教育委員会からご説明いただいたことは重々私も理解してるところでございますけども、やはり地域としても、新成人を何とかして話し合いの中で協議しながら進めていこうということを試みてきておるわけです。その結果、一斉に市民会館を使ってイベントをしたけど参加しない、あるいは合同でやっても出てきてもしゃべってる。そういう状況を聞きますと、やはりそういった経過を踏まえながら、まあ中学校区でやるというのはまだそんなに歴史古くないわけです。

だからもうしばらく、今のご意見を賜ってそれを前提にしながらこの現状を維持していきたい、そういう意味で現状維持と。将来的には、今おっしゃったようにもっと新成人が地域のことをわかるように我々も、何て言いますか理解を求めるような形で実現していきたいと思っておりますけども、現在は現状維持していきたいと、このように思っております。

(コーディネーター)

この事業に関しましては、評価よりも今の仕分け人サイドのコメントが一番出てたと思いますので、読み取っていただいて、活かしていただきたいと思っております。どうもあり

ありがとうございました。